

## 第36回 第2章 現代の経済

### 第5節 国民経済と国際経済

# 地域主義とグローバリズム

講師  
篠田健一郎

#### 学習のねらい

第二次世界大戦後の国際経済は自由貿易と国際分業を中心に発展してきました。国際経済の発展とともに地域主義とグローバル化があらわれます。地域主義は国際経済を発展させるためにあられ、政治統合へ向かう動きも見られます。20世紀の終わりごろからは、財やサービスの移動だけでなくお金や人、情報の移動が大量に瞬時に世界中に広がり、世界の人々に大きな影響を及ぼすようになるグローバル化と呼ばれる現象も見られるようになります。

調べておこう  
覚えておこう

グローバル化／地域統合／EPA（経済連携協定）／  
FTA（自由貿易協定）／リーマン・ショック／  
EU（欧州連合）／TPP（環太平洋経済連携協定）

※下記の空欄 \_\_\_\_\_ を「調べてみよう 覚えておこう」の語句で完成させましょう。

#### POINT 1

### 地域統合の潮流

第二次世界大戦後の国際経済は自由貿易と国際分業を中心に発展してきました。さらなる発展のために経済的な<sup>①</sup> \_\_\_\_\_ が図られてきました。経済的な地域統合によってひとつの大きな市場をつくりだすことで国際経済全体にメリットがあると考えられてきたためです。2002年にEC（欧州共同体）が<sup>②</sup> \_\_\_\_\_ へ発展したように、経済的な地域統合は政治的な地域統合へと向かいます。しかし、地域統合は各国の主権を制限することになります。自国のアイデンティティを失いたくないという動きの象徴が2020年のイギリスのEUからの離脱です。

#### POINT 2

### 広がるFTA

GATT（関税と貿易に関する一般協定）やWTO（世界貿易機関）に象徴されるように自由貿易の原則は自由・無差別・多角です。しかし、国際経済を発展させるのであれば二国間協定も認めることになりました。1990年代から<sup>③</sup> \_\_\_\_\_ を結ぶ動きがあらわれます。協定を結んだ国同士は基本的に関税その他の自由貿易の妨げとなるものをなくして自由貿易を推進しようという取り決めです。さらに財やサービスだけではなくお金や人の動きも自由化しようという<sup>④</sup> \_\_\_\_\_ を結ぶ動きがあらわれます。

日本は2002年にシンガポールとFTAを結んで以来、メキシコやマレーシア、インドネシアなどと結んできました。最近では、EPAを重視し、人材の受け入れや相手国への投資、日本

